

2019年12月24日

各 位

会 社 名 株式会社カヤック
 代 表 者 名 代表取締役 CEO 柳澤 大輔
 (コード番号 3904 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役 管理本部長 藤川 綱司
 電 話 番 号 0467-61-3399

通期業績予想及び配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期通期連結業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、あわせて経営責任を明確にするため役員報酬の減額を決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2019年12月期通期連結業績予想の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	7,000	0	0	0	0.00
今回修正予想 (B)	6,400	△610	△640	△300	△19.80
増減額 (B-A)	△600	△610	△640	△300	
増減率 (%)	△8.6	—	—	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2018年12月期)	5,816	△391	△347	△253	△16.82

(2) 修正の理由

当期にリリースした新規ゲームタイトルが当初想定した売上高を下回って推移しており、現状のユーザー利用実績及び今後の方針を検討した結果、当該新規タイトルの通期での売上高が想定を下回る見通しです。クライアントワーク及びLobiについては、ほぼ期初の想定通りに推移しておりますが、子会社における事業計画の未達などにより、その他サービスの進捗が低調となり、連結売上高が期初計画を下回る見通しとなりました。また、ゲームのリリースのタイミングが当初想定よりも遅延したことで開発費用も増加しました。

この結果、新規タイトルにかかる広告宣伝費の削減や外注の内製化等のコスト管理も実施しましたが、ソーシャルゲームの限界利益率の高いビジネス構造もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を下回る見通しとなりました。

今後につきましては、引き続き、クリエイターの会社として組織戦略（人財・ブランド）を重視し、事業ポートフォリオを勘案しながら適切な投資配分を行うことで、持続的な成長を目指します。

なお、詳細につきましては「2019年12月期 通期業績予想修正にともなう臨時資料」を開示いたしますのでご参照ください。

2. 配当予想の修正について

(1) 2019年12月期期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		—	—
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2018年12月期)	0円00銭	2円00銭	2円00銭

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様との長期的な関係を築くためにも継続的な利益還元を実施していくことを基本方針としております。しかしながら、2期連続の当期純損失を計上する見込みとなったことから、誠に遺憾ながら当期の配当予想を「未定」から「無配」へ修正することといたしました。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. 役員報酬の減額等について

この度の2019年12月期通期連結業績予想の下方修正という結果を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施します。

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役 役員報酬月額の50%を減額

(2) 対象期間

2020年1月から3月までの3ヶ月間

以 上